

IPEE 2009, Human Rights learning as Peace Education,  
Pursuing Democracy in a Time of Crisis, Budapest, Hungary,  
EYCB

7月27日

オリエンテーション

Eva Borbelyne Nagy, Foundation for Human Rights and Peace Education  
全体会 (A) : 危機における人権と民主主義

Dale Snauwaert (米国)

人権と民主主義: 平和教育への倫理的・政治的フレームワーク

Eva Borbelyne Nagy (ハンガリー)

ハンガリーの新たな民主主義への危機への活路と喪失

Amene Modi (インド)

基本的人権と教育機会: インドの村落の女性

ワークショップ (1)

Barbara Baner

21世紀の学校や教室においてどのように人権や民主主義のために取り組むか

Anne Margrete Halvorsen (ノルウェー)

21世紀の平和教育

Eszter Kiss (ハンガリー)

平和教育と外国語学習: 知らない人への創造的出会い

Steven Allen (英国)

演劇とクリティカルなディスカッションによるアイデンティティと民族の意識化

Adeeb Yousif (スーダン)

人権抑圧者が直面する問題

7月28日

全体会 (B)

文化と対立の転換: 子どもの権利との関連

Eva Blensi (ハンガリー)

創造的パートナーシップによる平和な公園づくり: ロマ人の子どもと大人への人権  
教育と平和教育および文化実践

Gloria Maria Abarca Obregon (メキシコ)

自分が持っていないものは与えられない: メキシコの教師教育における子どもの権利

Benard Kurgat (ケニア)

価値と規範および地域の構造のバランス: ケニアにおける子どもの権利

ワークショップ (2)

Son Ninsri (タイ)

学習者の授業理解の促進のための人権の活用

David Ragland (米国)

平和教育実践の目標と価値とは何か

Lyudmila Bryzzheva (米国)

人間存在の探求: 教育的思想と実践の転換

Tiffany Hunter (米国)

平和教育としての青年の自閉症理解

Daniela Rippitsch (オーストリア)

オーストリアにおける公民教育と人権学習: 周辺から主流への長いたたかい

ワークショップ (3)

Ronni Alexander (日本)

ポーポキ・人権は何色?: ポスターづくりや他の活動でアドベンチャー

Anto C.P. (インド)

ナーガランド (北東インド) での青年人権トレーニング

Aniko Kaposvari (ハンガリー)

変革への演劇- ドラマ的手法を用いた実験

Mialisa McFarland (米国)

人権と法制度

Deusdedit Mremi (タンザニア)

変革へのプロジェクト: 建設的なダイアログによるコンフリクトの対処

7月29日 現地訪問: 児童擁護施設

7月30日

ワークショップ (4)

Daisuke Nojima (日本)

日本における反差別教育- 部落差別シミュレーション

Marielle Amarhein (米国)

草の根からの民主主義再発見: ニューヨークの公立学校での人権アクティビ  
ズム

Josefine Scherling (オーストリア)

国際人道法とは何か、どのように関わるか。

Andrew Moss (米国)

ライティング実践によって人権の言語を学ぶ

全体会 (C)

Ghassan Abdallah (パレスチナ)

恒久的な正義としての教育

Sakena Yacoobi (アフガニスタン)

アフガニスタンにおける人権教育と平和教育

Colins Imaho (ニジェール)  
ニジェールにおける人道的和解と平和と正義の希求

ワークショップ (5)  
Molly Rose Elkins-ryan (米国)  
即興コメディ101: 即興劇ほかロールプレイによる食料問題の学習  
Matthias Ruest (スイス)  
スイスのNGOトレイナートレーニングにおける平和学習のモデル  
Sarah Bou Ajam (レバノン)  
民主主義への困難: レバノンにおける人権学習  
Paula Andrea Ramirez Diazgranados (コロンビア)  
自己と他者の覚知: 身体と言語、コミュニケーション  
Silvia Beatriz Canto Celis (メキシコ)  
政治家と市民が交渉のテーブルに着くための前提としての批判的学習

7月31日  
全体会(D): 人権と民主主義理解のディレンマ、政治への教育  
Francesco Argenio Benaroio (イタリア)  
国際移民労働者: ILOの見解・とりくみ  
Cecilia Deme (ルーマニア)  
貧困の悪循環: 原因と状況、政策、対応  
Janet Gerson (米国)  
人権は誰のものか。WTOという超国家的問題

ワークショップ (4)  
Mary Lee Morison (米国)  
神秘主義と詩のいづれなのか: 言語および言語でないもの、人権教育そして平和  
教育、民主主義の概念の転換  
Snjezana Duricic (ボスニア・ヘルツゴビナ)  
ボスニア・ヘルツゴビナの復興における人権教育  
Anaida Pascual and Anita Yudkin (プエルトリコ)  
平和と人権教育において行動を育む: 内省的・参加型ダイアローグ  
Bimal Dahal (ネパール)  
ネパールの地域における批判的教育の展開  
Doris Porto (米国)  
フリーズフレームテクニックを用いた非抑圧者のための演劇の特色

ワークショップ (7)  
Kazuya Asakawa (日本)  
宗教における多文化理解の促進: 多文化理解の場としての寺院の活用  
Erin Dunlevy (米国)

ニューヨークの学校のクラスでのボーアール (非抑圧者のための演劇) による  
共同体づくり  
Jumana Kamal (パレスチナ)  
未来をつくる: 生き方として人権や民主主義を育てるケアモデル  
Jalka (オーストリア)  
変革の時/危機における未来思考

8月1日  
全体会 (E)  
jasmin Nario-Galace (フィリピン)  
わたしたち教師は何を教えるのか: 研究者であり活動家であるとして  
Samia Anwer (パキスタン/グルジャン・ダッカ)  
少数者の権利: 先住民コミュニティでのエンパワメント活動  
Paula Andrea Ramirez Diazgranados (コロンビア)  
自己と他者の覚知: 身体と言語、コミュニケーション